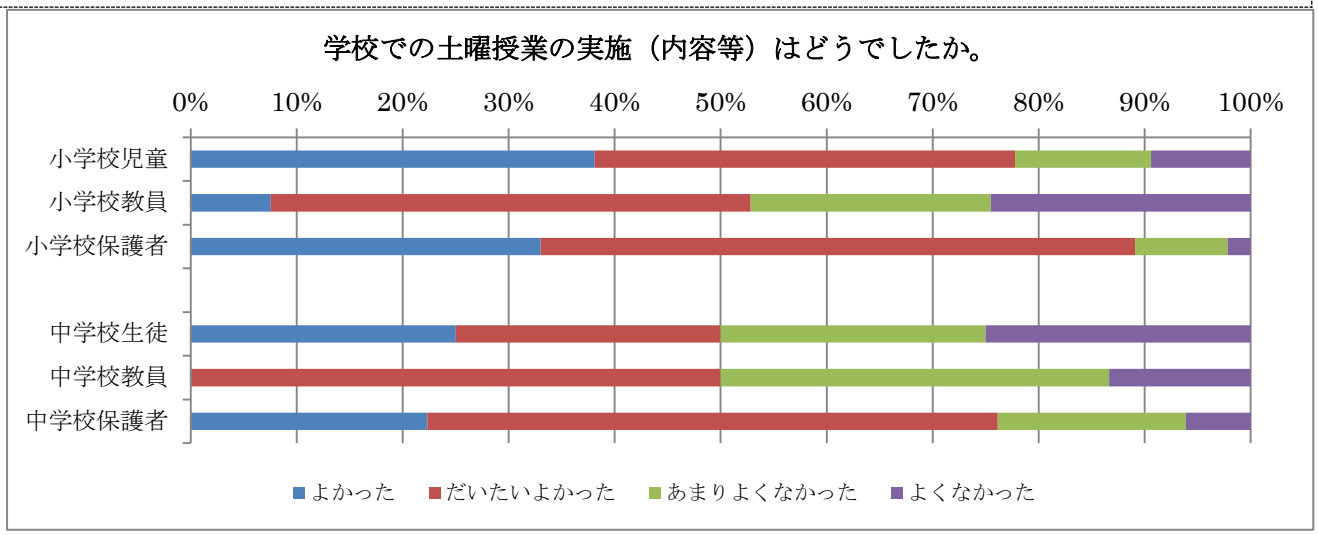
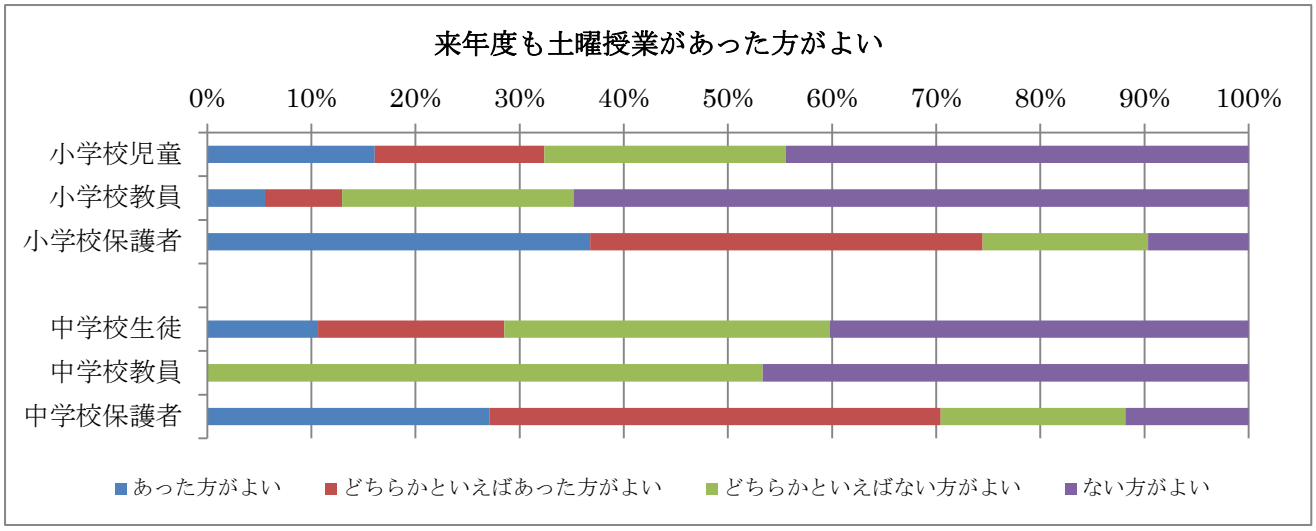
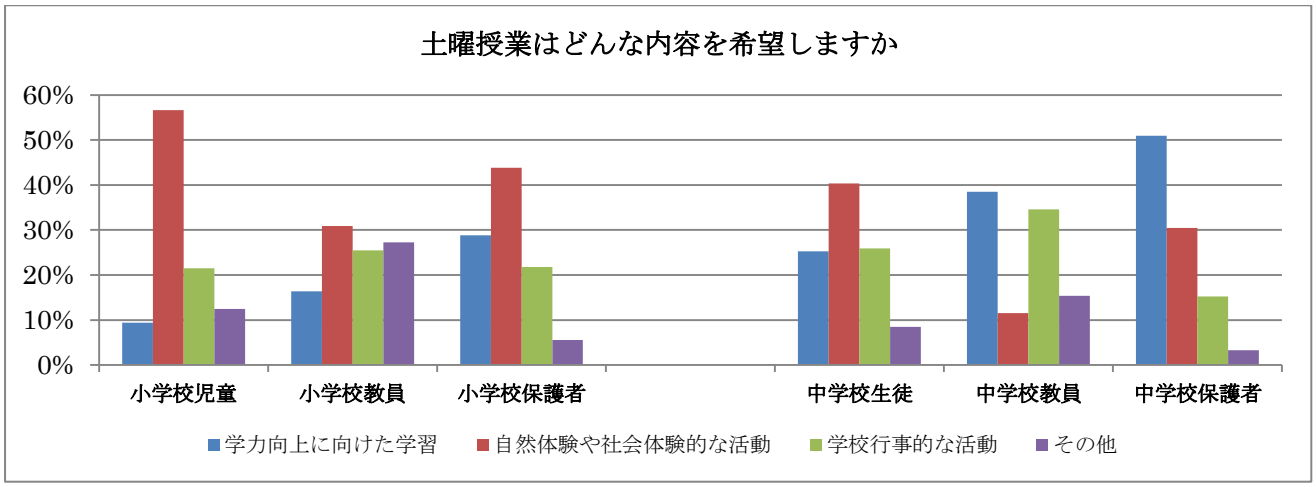
平成２７年度　土曜授業実施後のアンケート結果の概要

平成 28 年１月

岩美町では町内３小学校と１中学校で、平成２７年度より年６回予定で土曜授業を実施しました。その振り返りのために第４回目（平成 27 年 11 月 14 日）実施後、児童生徒、保護者、教員対象にアンケートを実施しました。その概況をお知らせいたします。







【主なご意見】

（教員）

- 地域を巻きこんで、学校行事等を行うことは大賛成です。しかし、教職員の勤務条件が整わないままに行われていることで、来年度以降の実施を反対します。(小)
- 学校独自の体験的な活動（行事）を行うには、ちょうどよかった。平日の授業時数が確保できたと思う。しかし、生活リズムが狂うことや日曜日の地域行事など、月曜日始まりを阻害していることの方が多い。年間６回を年間２回に減らし、体験的な活動に限定したい。（小）
- 例年、平日に行われていたマラソン大会が土曜日になり、保護者の方は喜ばれていたと思う。日曜日に地域の行事が行われる事も多く、児童・教員とも休めない事があったので、地域行事との調整が必要である。（小）
- 学校外の活動が重なり、欠席する生徒もいました。また、土曜授業のあった週の次の週の生徒の様子には、かなりの疲労感が感じられました。社会のリズムに合わないことや生徒の疲労度を考えると、実施しない方が望ましいように思います。（中）

（小保護者）

- マラソン大会が平日から土曜日に変わったのはよかったです。
- 土曜授業が地域行事とかぶったり、部活動等の試合と同じ日になったりすることが多いと思うので、土曜授業を行うなら鳥取県全体でやるようにしてほしいです。
- 土曜授業をいち早く取り入れたことは良かったと思う。また、土曜授業の日にち選択が子ども達のことを考えて選んでくださっているのを感じた。（行事の振替休日や祝日などに近いなど）内容も子ども目線に検討されたのかなと伺えるものがとても素晴らしいと思う。
- 土・日、２日間休みがあると、家でゆっくりできて良い反面、だらだらと過ごしてしまう時もあり、月曜からのエンジンがかかりづらいこともあります。このペースで良いので、続けて土曜授業があれば良いなぁと思います。

（中保護者）

- 半日授業、半日部活と本人は平日と変わらない様子でした。なんとなく慣れてきたという感じです。
- 実施日が少ない。せめて月１回位にした方がよいと思う。
- ２年以下は、午後から部活もあり、弁当を作る回数が増えた。学活等行うくらいなら、学力補充の時間にしてほしい。

（児童・生徒）

- 土曜日に学校に出るのは、忙しいです。休む日が少ないので、家族で触れ合う時間が少なくなります。（小）
- 日曜日に部活があるので、あまり休むことができません。疲れがたまります。（小）
- 土曜授業はないほうがいいけど、あるなら毎週あった方がいいです。リズムがくずれる。（小）
- いつもはできない授業（普段とは違った授業）を受けたい。（小）
- 金曜日にダラダラすることがなくなったり、宿題をしたりと生活リズムがくずれなかったりするのでいいと思う。（中）
- せっかくの取り組みなので、３年生は補充だけでなく、受験勉強をこの土曜授業を使ってした方が良いと思う。(中)

【アンケート結果からの考察】

○ 児童・生徒や教職員は、平成１４年度から１３年間続いた「学校週５日制」に慣れているので、土曜授業に対して抵抗感があるようであるが、小学校の低学年や中学校３年生は、土曜授業について理解を示している。また、保護者は、子どもたちの「学力向上に向けた学習活動」や「自然体験や社会体験的な活動」など通して、子どもたちの学びを期待していることを考慮して、学校・家庭・地域、そして教育委員会が連携をして、岩美町独自の土曜授業を実施していくように努力をしたい。

○ 土曜授業の次の月曜日は、児童・生徒の体調不良者が多いようであると教職員からの報告がある。そのため、日曜日の過ごし方等を工夫することが大切であると考える。土曜授業を定着させるためには、土曜授業の内容を充分に検討し、工夫をすることによって、子どもたちの生活リズムを指導し、土曜授業の趣旨を啓発していくことが今後の重要な課題である。地域の行事、スポーツ大会、部活動・スポ少の練習などの日程調整を今後も積極的にしていくことが今後の課題である。

○ 土曜授業の実施日と各種スポーツ大会や地域行事等が重なった場合があったので、児童・生徒の出席については、大会や行事の内容などを考慮し、学校長判断（教育委員会の指導の下）で出欠の扱いを再考していくことも大切である。

○ 土曜授業の教職員の振替休業日は、各学校で教職員の振替を実施しているが、教職員にとって満足なものになっていないような面がある。今後、教職員の勤務体制を配慮していくことが重要である。教職員が、土曜授業に対して納得をし、理解をして意欲的に取り組んでいくような環境整備を整え、岩美町の風土作りを築き上げていくことが望まれる。

○ 土曜授業の実施日の午後、児童・生徒が部活動やスポ少の練習、習い事等を計画しているので、保護者の弁当作り等が負担になっている面がある。土曜日の午後の過ごし方や昼食をどうするかなどの検討も考えていくことも今後の課題である。

○ 今年度は、県教育委員会においての日程調整を下に、土曜授業の実施日を町校長会等と話し合い年６回実施したが、児童・生徒や保護者は反応の良かった。来年度も、年６回ぐらいの実施をしていきたいと考える。土曜授業は、市町村単位での施策として実施しており、部活・スポーツ少年団の大会など、他校や他市町村などの広範囲な連携が求められることが多くある。国や県が統一的に施策を打ち出すことを期待したい。岩美町でできることを工夫して、今後も充実した土曜授業を実施していきたいと考える。